

7月度低山はいかい「宝登山・長瀨アルプスと名勝！岩畳を歩く」実施報告

・実施日：7月24日（水）

・概要：秩父鉄道長瀨駅集合9時40分。同駅前出発：9時55分。宝登山神社：10時10分-宝登山ロープウェイ山頂駅：11時15分（休憩約15分）-宝登山神社奥社：11時35分-宝登山頂：11時40分（昼食約30分）-奈良沢峠：12時35分-氷池分岐：12時55分-天狗山分岐：13時15分-神回り入口：13時55分-長瀨駅前：14時25分-岩畳：14時35分-長瀨駅前：14時45分、総所要時間4時間50分。

・主幹事：福田正男

・参加者：10名 田口農雄、白井操子、瀬川真治、丸山 正、福重昌行、
福田正男、白井治子、上野真智子、小勝眞佐枝、飯塚義則

・報告者：飯塚義則

・本文：

梅雨明けを前にしたやけに蒸し暑い日であったが、埼玉県秩父郡長瀨町を舞台に低山はいかいを実施した。長瀨駅前を出発し、秩父往還を横断、緩い登りの表参道を進むと宝登山神社である。三峰神社、秩父神社とともに、秩父地方を代表するこの神社は、日本武尊東征伝説の影響を色濃く残す。元来、真言系修験道当山派の寺院として開山され、今では無住となった玉泉寺が別当寺であった。拝殿に詣でた後、標高497メートルの宝登山山頂に向かった。山頂への道は素晴らしいコナラやクヌギなどの森閑とした雑木林に覆われ、林縁には赤い実をつけたヤブデマリやツノハシバミなどを眼にした。登山道を登りきり、宝登山ロープウェイの山頂駅に到着。眼前の秩父盆地や周囲の山々の連なりが美しい姿を見せていた。そこで眼にした、オオムラサキに歓喜の声をあげる。暫く時を過ごした後、蠟梅園や梅園の中を抜け、大犬様の狛犬が鎮座する宝登山神社奥社を拝観し、山頂で昼食をとった。

昼食後は、野上峠、氷池分岐へと進み、長瀨アルプスの稜線を辿り、天狗山分岐を経て神回り入口へと下山した。目立たないが路傍に楚々と咲くアキノタムラソウやキヌタソウ、ツクバネウツギ、いっぱい実をつけたキブシ、虫瘤の実を沢山つけたマタタビ、一面に花を咲かすリョウブ、随所に生えるタマゴタケなどを観察しつつの、緑濃い雑木林の中の下りは心地よかった。途中の休憩場所には、秩父地方においても御嶽信仰が普及したことを示す石塔が建っていた。それは、江戸時代に御嶽山王滝口登山道を開いた普寛上人が大滝村落合の出身であったことにもよるものであろう。山を下りきり、長瀨の岩畳を往復した。岩畳は幅数十メートル、長さ500メートルにおよぶ隆起した結晶片岩の大岩盤で、対岸には秩父赤壁と呼ばれる大岩壁が聳えていた。わが国の地質学発祥の地として知られるこの地の自然のダイナミズムあふれる景観に、あらためて目を見張った。最後に長瀨駅前に戻り、今日の山行を振り返りつつ、寛ぎと団欒の一時を過ごし散会した。本日の意義深い企画に深謝致します！

以上



宝登山神社



宝登山神社の参道



ツノハシバミ



ヤブツルアズキ



宝登山頂上にて



長瀬岩畳にて